

KITAGAWA TAMIJI RETROSPECTIVE: FROM MEXICO TO JAPAN

北川民次展 メキシコから日本へ



《ロバ》1928年 愛媛県美術館

2024年9月21日[土]—11月17日[日] 世田谷美術館 SETAGAYA ART MUSEUM

休館日：毎週月曜日 ただし、9月23日[月・振替休日]、10月14日[月・祝]、11月4日[月・振替休日]は開館。9月24日[火]、10月15日[火]、11月5日[火]は休館

開館時間：午前10時—午後6時(入場は午後5時30分まで)

観覧料：一般1,400(1,200)円、65歳以上1,200(1,000)円、大高生800(600)円、中小生500(300)円

・()内は20名以上の団体料金。事前に電話でお問い合わせください。・障害者の方は500円。ただし小中高大専門学校生の障害者の方は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料(予約不要)。・未就学児は無料(予約不要)。・高校生、大学生、専門学校生、65歳以上の方、各種手帳をお持ちの方は、証明できるものをご提示ください。

・本展では、オンラインチケットを2024年9月10日[火]正午より販売します(クレジット決済、またはd払い)。オンラインでのご購入が難しい方、アツカード等の各種割引をご利用の方は、美術館窓口で「当日券」をご購入ください。会場内混雑の際には、お待ちいただくことがあります。

あらかじめご了承ください。オンラインチケット販売サイト <https://www.e-tix.jp/setagayaartmuseum/>

主催：世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団)、東京新聞 | 後援：世田谷区、世田谷区教育委員会

東京新聞 140th



北川民次展

メキシコから日本へ

北川民次(1894-1989)は20歳で渡米し、働きながら絵を学んだのち、革命後の壁画運動に沸く1920年代のメキシコで画家、そして教育者として出発しました。1936年の帰国後は東京・池袋を経て愛知・瀬戸に居を定め、晩年まで精力的に作品や著作を発表します。「メキシコから日本へ」という特異な歩みのなかで北川が見出し、追求したものは何だったのでしょうか。

本展では、メキシコ時代から一貫してみられる、市井の人々への温かなまなざしと鋭い社会批判をはらむ代表作に加え、未来の社会をつくる子どもに向けた絵本や美術教育の仕事、また1955年のメキシコ再訪を経て取り組んだ壁画にも注目します。油彩約60点、水彩、素描、版画など約50点に、1920-30年代メキシコの芸術動向に関する資料、交流した芸術家の作品などを加えた約180点により、北川民次の表現を多角的に見つめる、約30年ぶりの回顧展です。

※会期中に一部の作品の展示替えがあります。
詳細は当館ウェブサイトをご確認ください。



1



2



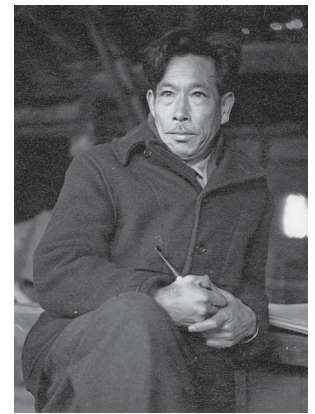
3



4



5



6

- 1 《トラルパム聖園のお祭り》1930年 名古屋市美術館
- 2 《砂の工場》1959年 愛知県美術館
- 3 《名古屋旧カゴメビル壁画原画 TOMATO》1962年頃 カゴメ株式会社
- 4 《農漁の図》1943年 東京都現代美術館
- 5 《絵本「うさぎのみみはなぜながい」原画》1942年頃 真岡市教育委員会
- 6 北川民次 1949年 撮影：松谷錦二郎



交通案内

- 東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、もしくは美術館行バスA「美術館」下車徒歩3分
- 小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バスB「砧町」下車徒歩10分
- 小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バスC「美術館入口」下車徒歩5分
- 来館者専用駐車場(60台、無料)：東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分。

関連レクチャー&トーク

※いずれも当館講堂にて開催。参加無料、手話通訳付き、当日先着140名(当日午後2時より講堂前にて入場整理券を配布、開場は午後2時30分)。

ミニレクチャー「30分でよくわかる! 北川民次展のポイント」

講師：塚田美紀(本展担当学芸員) | 日時：9月29日[日]、11月16日[土] いずれも午後3時-3時30分

レクチャー「北川民次の歩んだ道」[世田谷美術館友の会共催事業]

講師：塚田美紀(本展担当学芸員) | 日時：10月12日[土] 午後3時-4時30分

トーク1「戦後日本の美術教育と北川民次」

ゲスト：穴澤秀隆(元「美育文化」編集長、NPO法人市民の芸術活動推進委員会理事、國學院大學栃木短期大学非常勤講師)

聞き手：塚田美紀(本展担当学芸員) | 日時：10月26日[土] 午後3時-4時30分

トーク2「現代メキシコで生まれている壁画と版画——人々の声と表現」

ゲスト：清水チナツ(カルチュラルワーカー、PUMPKQUES) | 聞き手：塚田美紀(本展担当学芸員)

日時：11月9日[土] 午後3時-4時30分

100円ワークショップ

小さなお子様から大人の方まで楽しめる工作。

日時：会期中の毎土曜 午後1時-3時 | 会場：地下創作室 | 定員：一度に30名まで | 参加費：1回100円

※予約不要、随時受付

※ご入館に際しては感染症予防のため、手指消毒にご協力ください。館内では十分な距離を保てない場合がありますので、他のお客様へのご配慮をお願いします。※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。

【同時開催展】

ミュージアム コレクションI「アートディレクターの仕事——大貫卓也と花森安治」

7月20日[土]-10月14日[月・祝]

ミュージアム コレクションII「かわりゆくもの、かわらないもの——TRANSITION」

10月26日[土]-2025年1月13日[月・祝]

【次回企画展】

「東急 暮らしと街の文化」11月30日[土]-2025年2月2日[日]

世田谷美術館 SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2

TEL: 03-3415-6011(代表)

展覧会のご案内: 050-5541-8600(ハローダイヤル)

https://www.setagayaartmuseum.or.jp

[世田谷美術館公式SNSアカウント]

📧 @setabi_official 📷 @setagayaartmuseum